

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
世界史探究		前期	2	2年次以降	選択	12	3	6
		後期	2			12	3	6
使用教科書		東京書籍 701 世界史探究						
科目の概要		世界の歴史を、原始から近現代まで幅広く学習します。人類の文化が発展して文明が発生し、より大きな文化圏となり、近現代に近づくにつれ一体化していく過程を学ぶことで、世界的な課題となっている国際平和の実現について考える力を養います。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・世界史へのまなざし ・古代文明の出現 (P7～P34)		○なぜ世界史を学習するのかについて学びます。 ○地球と人類の誕生について学びます。 ○古代文明の出現について共通点と相違点を学びます。			前期 1・2	No.1	
	・西アジアと地中海周辺 (P35～P64)		○オリエントの統一、ギリシアとヘレニズム世界、ローマ帝国と地中海世界、古代末期の社会と地中海世界の解体、イスラーム世界の成立、中世初期の東西ヨーロッパについて学びます。			前期 3・4	No.2	
	・南アジア・東南アジア ・東アジアと中央ユーラシア (P65～P99)		○南アジア・東南アジア・東アジアと中央ユーラシア地域における国家形成について学び、考えます。 ○8世紀がユーラシアにおいてどのような点で転換期であったのか考えます。			前期 5・6	No.3	
	・アフリカ、オセアニア、古アメリカ ・イスラーム世界の拡大と繁栄 (P100～P121)		○ユーラシア大陸以外に成立した文明について特徴を考えます。 ○諸地域の交流と再編について、多様な面から考察します。 ○イスラーム世界が一つの文明圏としてまとまった理由を考えます。			前期 7・8	No.4	
	・中世ヨーロッパ ・中華世界の変容とモンゴル帝国 (P122～P159)		○9～15世紀にヨーロッパ社会ではどのような変動がおこったのか学び、どのように継承されたのか考察します。 ○中華帝国の変容とモンゴル帝国について学び、考察します。			前期 9・10	No.5	
	・インド洋海域世界の発展と東南アジア ・大交易時代と世界の一体化 (P160～P185)		○インド洋海域世界の発展と東南アジアについてイスラームの広がり方の地域差と、その要因について考えます。 ○大交易時代と世界の一体化について学び考えます。			前期 11・12	No.6	
	・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大		○16～18世紀にかけてアジア諸地域が比較的安定した社会を維持でき、経済的繁栄がどのようにもたらされたのか考察します。 ○16～17世紀ヨーロッパの新しい国家の特徴と形成された要因を考えます。			後期 1・2	No.7	
	・国民国家と近代社会の形成 (P225～P258)		○19～20世紀にかけ自由貿易が展開するなか世界が密接に連動していくようすを学び、多様な面から考察します。 ○国民国家と近代社会の形成について学び考えます。			後期 3・4	No.8	
	・世界市場の形成とアジア諸国の変容 ・アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 (P259～P297)		○世界市場の形成とアジア諸国の変容について学びます。 ○欧米列強はなぜアジアやアフリカなどへ進出しようとしたのかを考えます。 ○19世紀後半の世界について学び考えます。			後期 5・6	No.9	
	・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 ・国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 (P298～P336)		○第一次世界大戦は、それまでの戦争とどのような点で異なるのか、戦争の経験はどのような意味をもったのかを考えます。 ○国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について学び考えます。			後期 7・8	No.10	
	・第二次世界大戦と戦後の東アジア ・冷戦の世界化と国際制度 (P337～P362)		○第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際はどのような点が連続し、あるいは異なっていたのかを考えます。 ○冷戦のもとで世界平和はどのように模索されたのか考えます。			後期 9・10	No.11	
	・冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 ・21世紀の地球的課題と人類社会 (P363～P389)		○冷戦の変容にともない、経済のグローバル化は何を契機におこり、世界経済をかえていったのかを考えます。 ○21世紀の地球的課題と人類社会について当事者として考えます。			後期 11・12	No.12	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）							
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・2年次以上で4単位修得します。							